# 令和5年度予算編成方針

#### 1 本市の財政状況 (別添参照)

令和3年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況からの船 出となったが、各種対策の効果もあり、歳入の根幹である市税収入は、当初想定した ほどの落ち込みはなかったものの、個人市民税は前年度より減少となった。今後も人 口減少の進展などにより市税収入の大幅な伸びは期待できない。

一方、歳出は、引き続き社会保障費、公共施設等の老朽化に伴う維持管理費などの 経常的な支出の増加が見込まれる中、現下の原油価格・物価高騰の長期化が懸念され るなど社会経済の先行きは不透明であり、財政状況は厳しくなるものと見込んでいる。

### 2 予算編成の基本方針

新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されつつあるものの、資源価格の高騰、人口減少・少子高齢化、災害の頻発化など我が国を取り巻く社会状況等の変化が市民生活や地域経済に与える影響に十分に目配りし、迅速かつ適切に対応する必要がある。

また、先行きの見通しが不透明な中、第六次総合計画を推進するためには、歳出全般にわたり、事業の効果や必要性、優先度をゼロベースで見直すとともに、重点的な予算配分を行うことで効果的な選択と集中を推進し、将来を見据えて必要な財源の確保も図っていく必要がある。

そのため、令和5年度の予算編成にあたっては、次の項目に対し、重点的に財源を 配分する。

## (1) 子どもたちの「育ち」と「学び」がつなぐ未来づくり

子育て支援や教育の充実に限らず、いくつになっても心豊かに過ごすことができるよう子どもたちの育ちと学びを支える取り組みを推進する。

## (2) 「人生 100 年時代」を支える仕組みづくり

全ての人が健康で元気に、安心して暮らすことができるよう、持続可能な健康・ 福祉施策の展開、地域コミュニティの活性化を推進する。

## (3) 安全・安心なまちづくり

自助・共助・公助の切れ目のない連携に基づく災害に強いまちづくりを推進する とともに、快適で安全な生活環境を維持するための強靭な施設整備を行う。

## 3 予算編成にあたって

## (1) 使命、責任、スピード

- ア 新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期すとともに、コロナ禍やコロナ 後を見据えた市民生活や事業活動への支援を行うこと。
- イ 部長は施策の推進責任者、課長は事業の実施責任者として、費用対効果、時代 適合性、受益と負担、将来性、持続可能性などの幅広い視点を持って検証し、「や める勇気」を持って主体的判断をすること。
- ウ 特別会計及び企業会計にあっては、独立採算性の原則に基づき、支出の効率化 と収入確保に努め、経営の健全化を推進し、安易に一般会計に依存しないこと。
- エ 出資法人を所管する部署にあっては、積極的に財政的関与を図り、主体的に指導監督をすること。また、サービスの向上を図るほか、経費縮減と自主財源の確保を最大限に図り、民間と競合可能な自立した経営を目指すこと。

#### (2) PDCA・EBPMの活用

- ア 施策点検・事業点検を最大限に活用し、事業の効率性、有効性等を検証し、事業の縮小・廃止、改善、経費縮減に努めること。また、中長期的な視点を持って 費用対効果の小さいものや事務負担の大きいものは優先的に見直しをすること。
- イ 説明責任を果たすためにも、EBPM(※)を活用した提案を行うとともに、 今後の事業展開や具体的な実行計画を示すこと。
- ※EBPM (Evidence-based policy making 証拠に基づく政策立案) エピソードなど主観的なものではなく、統計等データなど客観的な証拠 (エビデンス)を用いて事実・課題を把握し、論理性・合理性を備えた課題解決方策を立案する。











